



お知らせ

2025 年 2 月 4 日

富士化学工業株式会社と株式会社森とみずのちからが 小水力発電事業協業のための協定書を締結

富士化学工業株式会社（本社：富山県、代表取締役社長：西田 洋、以下「富士化学工業」）と、株式会社森とみずのちから（本社：奈良県吉野郡、代表取締役：貝本 隆三、以下「森とみずのちから」）は、富山県の地方創生と脱炭素社会の実現に資する小水力発電事業を協業し、推進する協定を締結いたしました。



■協定書締結の背景

日本国内で人口減少が進んでいく中で、地方ではその傾向が顕著に表れ社会インフラをはじめとした生活基盤を維持できないリスクが高まることが想定されています。他方、脱炭素社会の実現に向けて再生可能エネルギーの電源開発やさらなる普及が求められています。

富士化学工業は以前から、郷柿沢工場のボイラー燃料を重油から LPG へ転換したり、「オフサイト PPA」により再生可能エネルギー由来電力を供給しています。またグループ会社 Asta RealAB（スウェーデン）社では工場余剰熱の有効活用、西田美術館における電力の 100%再エネ化など、環境負荷の低減に努めてまいりました。森とみずのちからでは、山が持つ自然資本の価値向上と地域活性化を目指す小水力発電事業を軸として、事業適地の調査や開発などを行っています。

両者の理念には「地域活性化」と「脱炭素社会の実現」が共通して掲げられております。富山県の水資源を価値化していくことで、両者の理念を共に達成していくために協業に至りました。具体的には、富士化学工業が長年築いてきた信頼やネットワークと、森とみずのちからが持つ小水力発電所の開発ノウハウを掛け合わせることで持続可能な事業と地域づくりを目指します。



お知らせ

2025 年 2 月 4 日

■役割

富士化学工業が築いてきた富山県内での信頼や実績と、森とみずのちからが保有する電源開発のノウハウを掛け合わせることで、強力に事業を推進いたします。

○富士化学工業の役割

- ・地域、自治体とのパートナーシップ体制の構築（説明、調整など）

○森とみずのちからの役割

- ・案件の企画、設計
- ・コンサルティング全般（小水力発電事業にかかるノウハウの提供）

○両者で共同して行う事項

- ・可能性調査

■今後の取り組み

今後、富山県の小水力発電所開発の検討を進めてまいります。各調査や開発については、各地域の自治体や各ステークホルダーと連携の上、地域活性化に資するものを目指します。

■両者概要

富士化学工業株式会社 URL : <https://www.fujichemical.co.jp/>

本 社 : 富山県中新川郡上市町横法音寺 55

代表者 : 代表取締役社長 西田 洋

1946 年 10 月創業。医薬品だけでなく健康食品素材も開発・製造し、予防から治療までの幅広い領域でグローバルに展開。

株式会社森とみずのちから URL : <https://tpfw.co.jp/>

本 社 : 奈良県吉野郡下市町新住 1118

代表者 : 代表取締役社長 貝本 隆三

2022 年 12 月に吉銘グループ（本社：奈良県吉野郡下市町大字新住 1118、代表取締役：貝本隆三）と飛騨五木グループ（本社：岐阜県高山市江名子町 2715-11、代表取締役：井上正博）の協業によって設立。

今後も持続可能な社会の実現に向けて取り組みを加速し、環境価値の提供、地球環境に配慮したサステナブルな脱炭素社会の実現に向けて貢献してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

富士化学工業株式会社 経営企画室 坂林

Tel 076-472-2322 FAX 076-472-2330

URL www.fujichemical.co.jp